

授業科目	文化財特講 Cultural property			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>テーマ： 文化財調査・研究法総論 到達目標：多種多様な文化財を理解する。 各文化財に応じた調査・研究方法について学ぶ。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	各種の文化財に関心を抱き、学修に意欲的に取り組むことができる。			授業への参加態度	10%		
思考・判断	現状の課題を自分なりに整理し、論理的な発言をすることができる。			プレゼンテーション	20%		
技能・表現	各文化財に応じた調査・研究方法を身につけ、実践することができる。			調査計画書	30%		
知識・理解	専門用語を用いて文化財について説明することができる。			課題レポート	40%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>授業への参加度 10%、授業を通じて検討した調査計画書 30%と調査計画に基づいたプレゼンテーションの実施 20%、課題レポート 40%で評価を行う。授業への参加度については受講生同士の討論や教員からの発問に対する応答の内容を評価基準とする。</p>							
授業の概要							
<p>授業は講義と討論、プレゼンテーションを組み合わせた形態とする。 講義は、文化財全般の概要、文化財保護法令、文化財保護史、文化財の調査・研究方法について講義する。各講義の中で、適宜質疑応答や課題に対する討論を行う。 講義内容を基に、文化財調査の方法について学習する。文化財の所在する地域の中から受講生自身が1箇所を選定し、講義で学んだ調査・研究方法を盛り込みながら、調査計画を立案する。立案した調査計画書を基に、他の受講生に対しプレゼンテーションを行い、計画に対して討論を行う。 授業を踏まえ、文化財の調査・研究に関するレポートを執筆し、最終授業日までに提出する。 上記の内容を踏まえ、実践的な文化財調査の知識および研究方法について学ぶことを目的とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。(授業時に資料を配布する) 参考書：森本和男 2010『文化財の社会史：近現代史と伝統文化の変遷』彩流社 古庄浩明 2018『文化財学の基礎』三恵社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>地域に所在する文化財を把握・訪問し、文化財に興味を持つことを期待する。 文化財および博物館学に関する本及び論文を多く読んでいただきたい。 加えて、日々報道される文化財関連の新聞や記事にも着目し、問題意識を持って授業に臨んでほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	導入	本講義で扱う内容、講義の進め方、評価方法、参考書等について説明する。※資料配布予定	予習：シラバスの確認。 復習：講義の構成について理解する。
2	文化財全般の概要	文化財保護法で規定されている文化財の定義および分類について講義する。	予習：参考書『文化財学の基礎』を熟読。 復習：文化財保護法の規定を確認する。
3	文化財保護史	文化財保護の黎明期から近現代に至る歴史について講義する。	予習・復習：参考書『文化財の社会史』を熟読。
4	文化財研究史	文化財に関する研究史について概観する。	予習・復習：参考書『文化財の社会史』を熟読。
5	文化財保護法令	文化財保護法に至る文化財関連法規について講義する。	予習：参考書『文化財学の基礎』を熟読。 復習：文化財保護法の規定を確認する。
6	文化財調査・研究方法① 文献調査	文化財調査および研究の手法として、文献調査の方法を講義し、調査方法を習得する。	予習：国立国会図書館サーチの使用方法を調べる。 復習：WEB-OPACを用いて文献調査を実践する。
7	文化財調査・研究方法② 採訪調査	文化財調査および研究の手法として、採訪調査の方法を講義する。	予習：採訪調査の語を検索。 復習：授業内容の見直し。
8	文化財調査・研究方法③ 発掘調査	文化財調査および研究の手法として、発掘調査の方法および関連する踏査等の方法について講義する。	予習：発掘調査の語を検索。 復習：授業内容の見直し。
9	文化財調査・研究方法④ 化学調査・科学分析	文化財調査および研究の手法として、化学調査・科学分析方法を講義する。	予習：科学分析の手法の種類を把握する。 復習：授業内容の見直し。
10	調査計画①	文化財調査の計画立案方法について講義する。	予習：6～9 回授業の見直し。 復習：調査方法の検討。
11	調査計画②	実際に文化財調査を行う前提で調査計画を立案する。	予習：調査方法の検討。 復習：計画素案の作成。
12	調査計画③	第 11 回講義で検討した調査計画案について、教員の指導を受けながらブラッシュアップする。	予習：計画素案の完成。 復習：計画案の完成。
13	プレゼンテーション①	自身で設定した調査計画を発表し、それに基づいて討論を行う。	予習：発表資料の準備。
14	プレゼンテーション②		復習：指摘内容の精査。
15	総括	全体を振り返り、本講義の反省点や達成点を学生との双方向で検討しあう。また、レポートを提出する。	予習：調査計画書の完成。 復習：授業内容の振り返り。